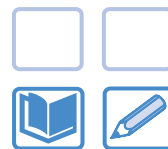


20-5 コンピュータの教育



活動

グラフを見て説明文を書く。

かたち



時間

● ● ●

せつめい編

談話の技術

文-81 Vていきます / Vてきます

準備する物

使うことば

はじ 初めて、コンピュータ、つか 使う、こうこう 高校、ちょうさ 調査*、グラフ*、にほんじん 日本人*、けつ か 結果*、まえ ~前、
だんだん、へ 減る*、ことし 今年、しょうらい 将来、もっと、ちゅうがっこう 中学校、ふ 増える、すこ 少し、~ずつ、おも 思う、しょうがっこう 小学校、
きゅう 急に、ちい 小さい

▲ ~によると / (数) 分の (数)

手 順

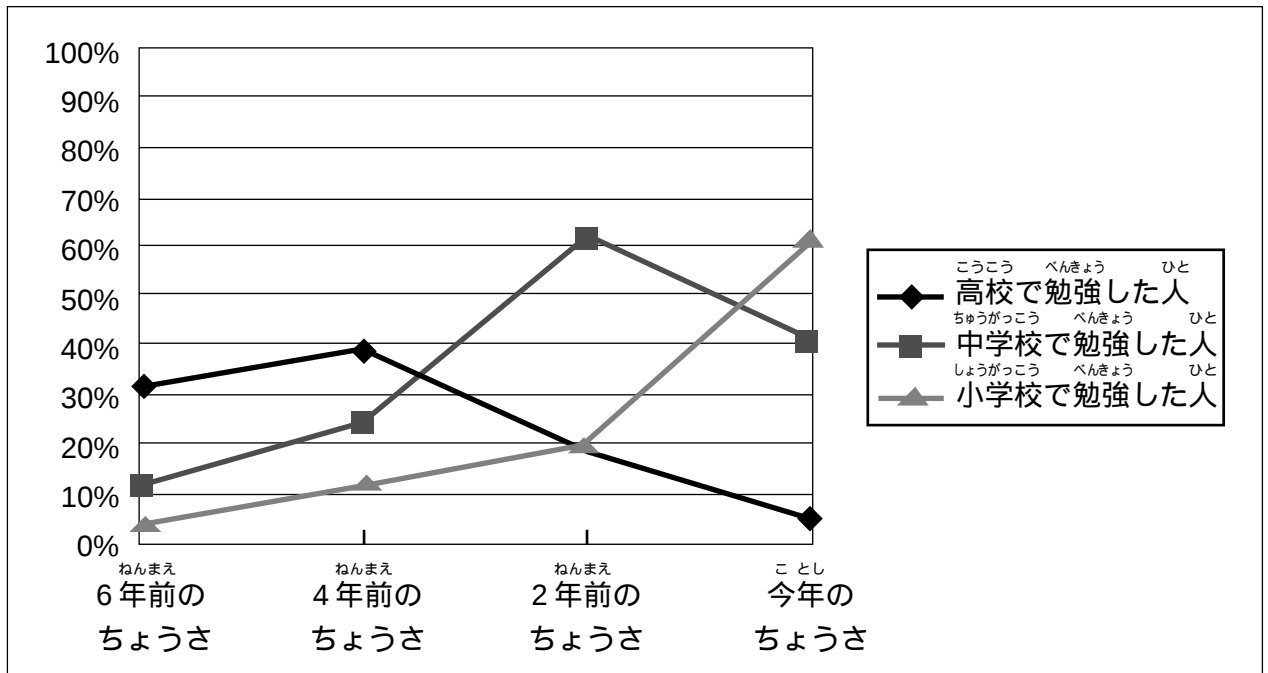
1. グラフを見て、その中でわかる変化について、「ふえてくる・へってくる・ふえていく・へっていく」を使って言う練習をする。

2. 学習者は、<タスクシート>の説明文の()の中に「ふえてくる・へってくる・ふえていく・へっていく」のどれかを正しい形に直して書く。

3. クラスでグラフを見ながら、答えを入れた<タスクシート>を読んで確認する。

タスクシート

コンピュータの使い方をはじめて勉強したのはいつか (高校3年生にしたちょうさ)



このグラフは、「コンピュータの使い方をはじめて勉強したのはいつか」と日本の高校3年生に聞いたちょうさのけっかです。

(1) 高校のときにはじめてコンピュータの使い方を勉強した人は、4年前からだんだん(へってきました)。今年は4年前の4分の1になりました。

しょう来、もっと()だろうと思います。

(2) 中学校ではじめて勉強した人は、2年前までふえていましたが、2年前から少しずつ()

しょう来も()だろうと思います。

(3) 小学校ではじめて勉強した人は、2年前まで少しずつふえていました。

そして、2年前から急に()

しょう来、もっと()だろうと思います。

(4) このグラフによると、小さいときにコンピュータを勉強する人が、どんどん()

これからはもっと()だろうと思います。

こた
< 答え >

- (1) へっていく (2) へってきました・へっていく
(3) ふえてきました・ふえていく (4) ふえてきました・ふえていく

バリエーション

- (1) 手^て近^{ぢか}にある統計資料^{とうけい しりょう}を使って変化^{へん か}を
説明^{せつめい}する。

先生へ

- ・ 練習^{れんしゅう}をする前^{まえ}に、「増^ふえてくる・減^へってくる・増^ふえていく・減^へっていく」の違い^{ちが}をクラスで確認^{かくにん}する。
- ・ <タスクシート>の中^{なか}の「増^ふえている」は、「増^ふえる」という変化^{へん か}が継続^{けいぞく}していることを表^{あらわ}す。
- ・ ここで使用^{し よう}しているデータは、統計資料^{とうけい しりょう}読み取り^{よ と}のために作成^{さくせい}したもの。実^じ際^{っさい}の調査^{ちようさ}のデータではない。

20-6、20-7、20-8、20-9 について

20-6、20-7、20-8、20-9の各練習は、これまでに習った文法や文型で書かれています。しかし、それぞれの<モデルテキスト>には、日本語能力試験出題基準3級に入っていない語彙がたくさん含まれています。けれども、語彙リストを付けるなどして、まだ学習者が習っていない語彙の意味がわかるようにすれば、決して難しくはないでしょう。学習時間などに応じて、段落に分けて読む、何回も聞くなど、工夫して利用してください。